

## 第8章 計画の進行管理

### 8-1 目標値の設定

本計画のコンパクトな都市づくりへ向けた基本理念でもある「歩いて暮らせる持続可能なまちづくり」の実現状況を確認するために、嬉野温泉街のメイン通りである本通り線の歩行者数を目標値として設定するとともに、当計画の進捗状況を確認できるように、主要施策である「都市機能誘導」や「居住誘導」について目標値を設定します。

居住誘導区域内の人口については、将来にわたって現状の値を維持していくこととし、都市機能誘導区域内の都市機能誘導施設数についても、人口維持と同様に現状の施設数を維持しつつ、現在立地していない子育て支援施設については、新たに確保していくものとします。これらに併せて、都市機能誘導施設の利用を目的に公共交通等を利用して区域内に訪れる方の増加や、観光に訪れ区域内を回遊する方の増加も見据え、本通り線の歩行者数の目標値を設定します。

#### ① 基本理念の実現状況を確認する目標値

##### ■嬉野温泉本通り線の歩行者数

2017年 H29年	2030年 H42年	2040年 H52年
516人/日	580人/日	650人/日

調査地点：本通り線のシーボルトの湯の前の交差点

調査時期：平成29年11月19日（日）、20日（月）

調査時間：午前7時から、午後7時までの12時間（上下方向の合計）

#### ② 都市機能誘導における目標値

##### ■都市機能誘導施設数

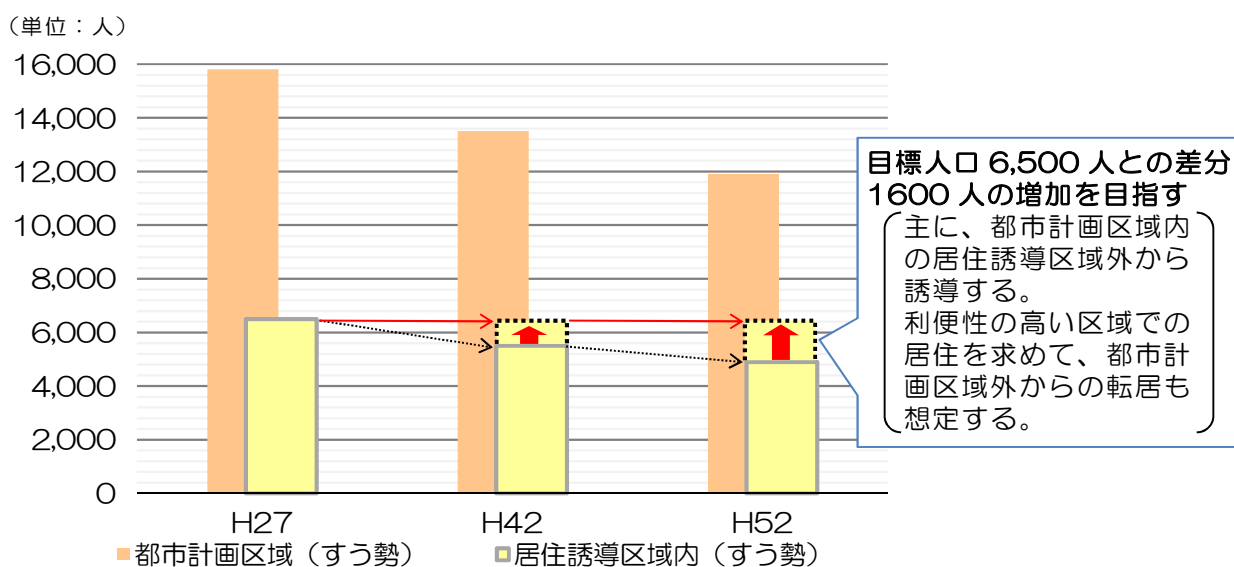
		2015年 H27年	2040年 H52年
医療	診療所、病院	4件	4件
社会 福祉	高齢者福祉施設 （通所介護）	4件	4件
	子育て支援施設	0件	1件
商業	スーパー、 ドラッグストア	4件	4件
金融	銀行、郵便局	6件	6件

### ③ 居住誘導における目標値

#### ■ 居住誘導区域の人口

	2015年 H27年	2030年 H42年	2040年 H52年	備考
都市計画区域（すう勢）	約 15,800 人	約 13,500 人	約 11,900 人	
居住誘導区域内（目標）	約 6,500 人	約 6,500 人	約 6,500 人	206.0ha
【参考】 // （すう勢）	約 6,500 人	約 5,500 人	約 4,900 人	

※すう勢：平成 22 年の国勢調査結果を元に国立社会保障・人口問題研究所が推計した値。各区域内の人口は、平成 21 年都市計画基礎調査の建物データを基に分配して集計した。

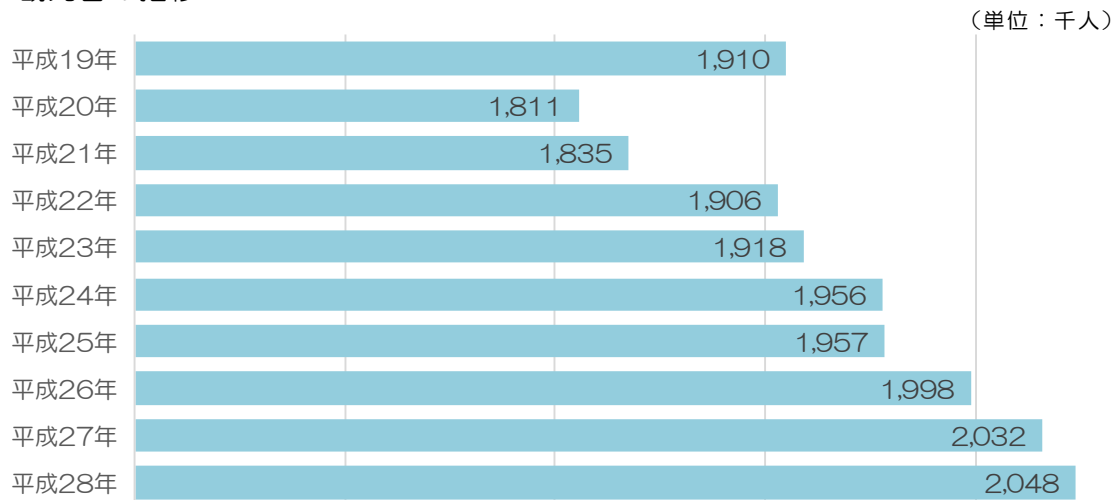


【参考資料】

■嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（関連項目のみ）

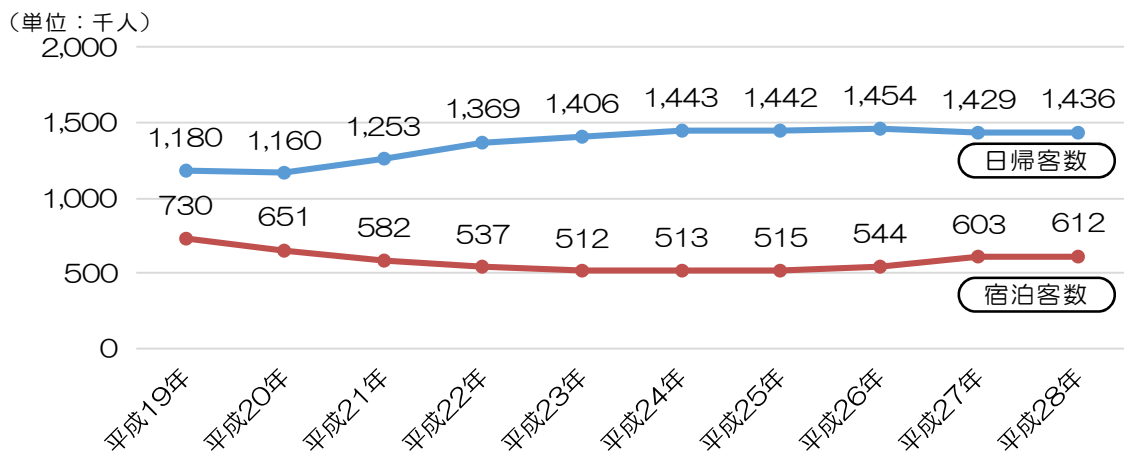
基本の目標	数値目標	単位	H26年 従前値	H31年 目標値
嬉野市に住みたい・行きたい “ひと”の流れをつくる	交流人口（観光客数）	千人	1998	2258
	外国人観光客数（宿泊）	千人	38.5	112
	宿泊者数（国内・国外）	千人	544	679
	人口の社会増減	人	▼135	▼99

■観光客の推移



資料：うれしの温泉観光課

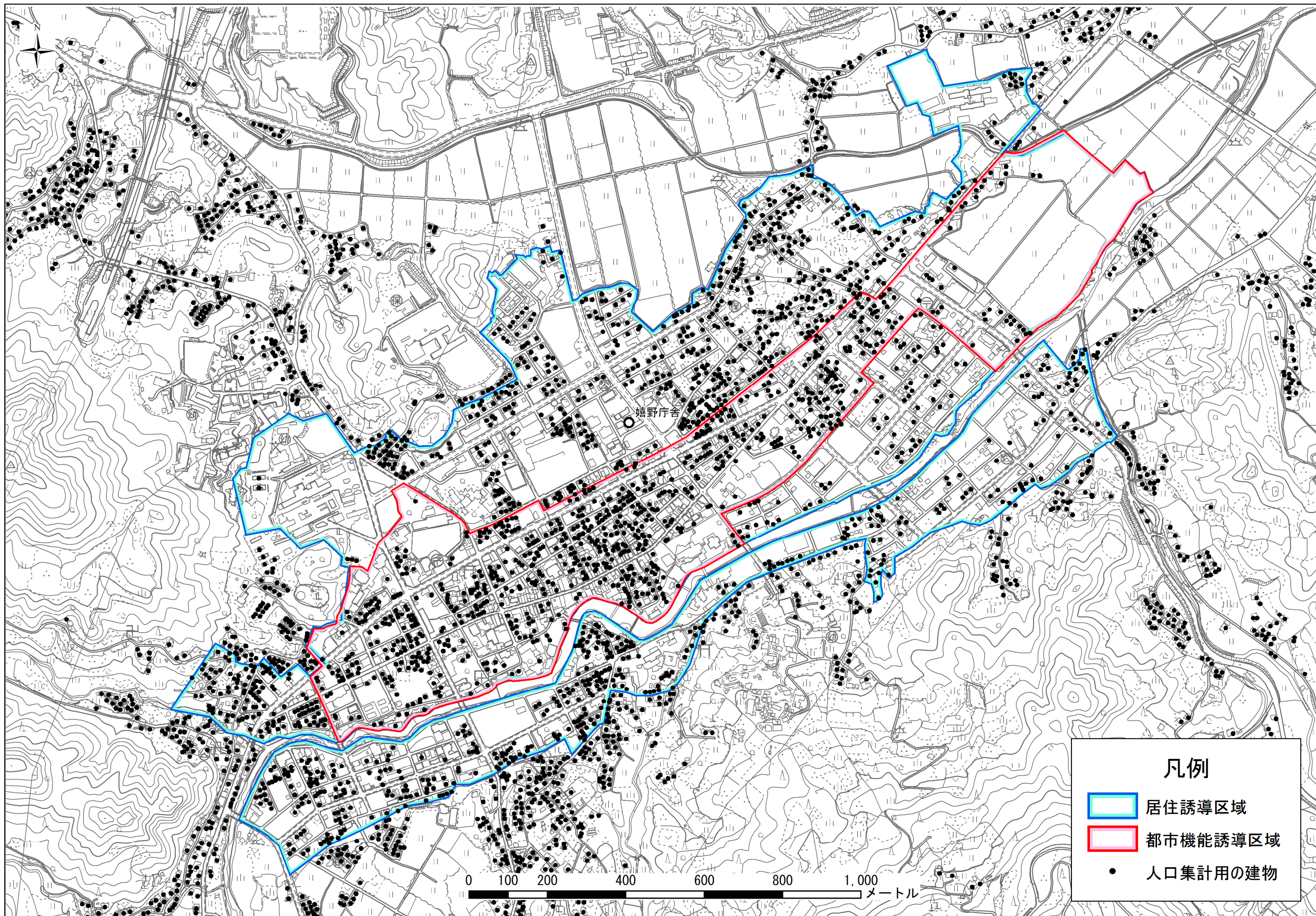
■日帰・宿泊観光客数の推移



資料：うれしの温泉観光課

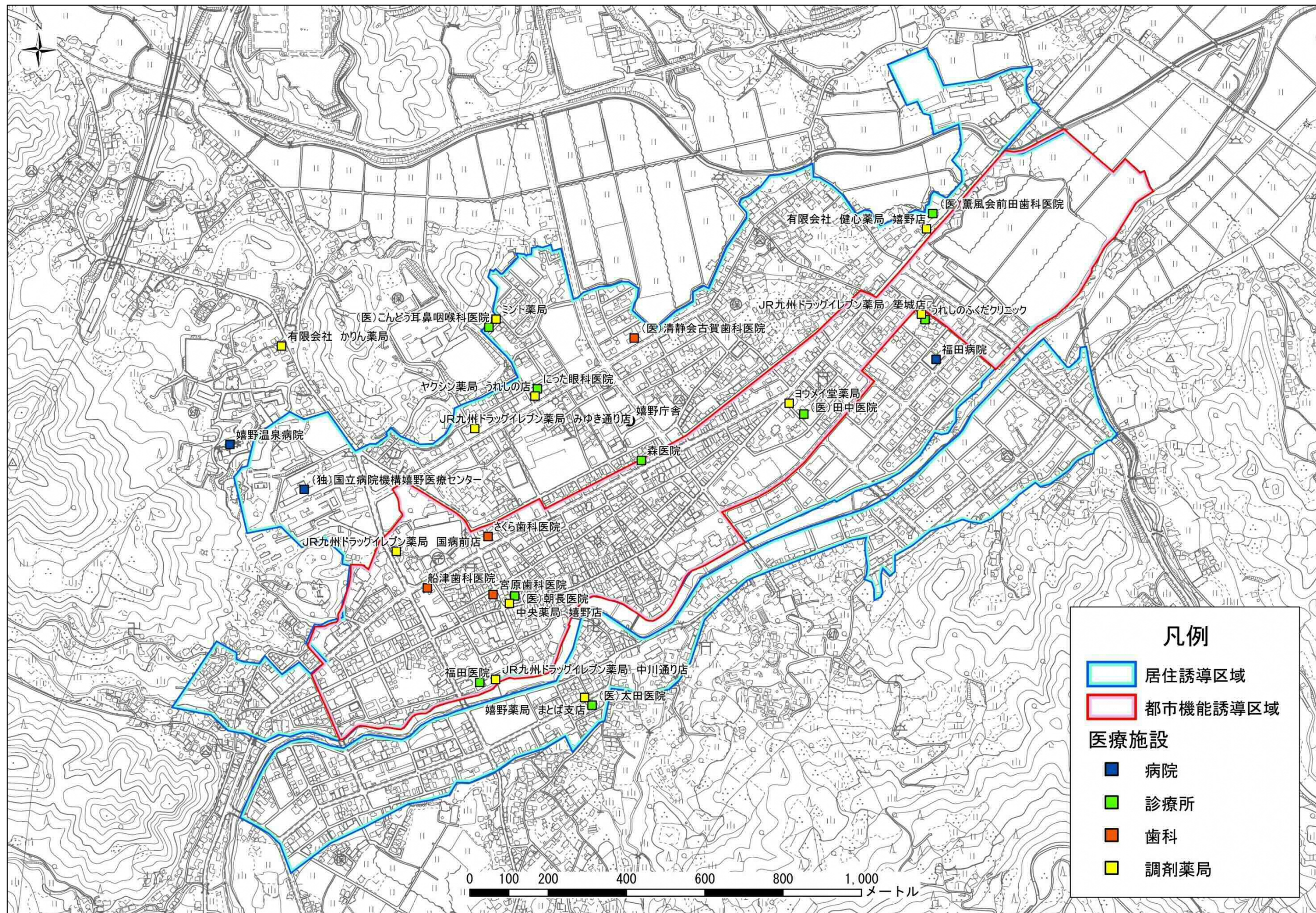


【参考資料】 人口集計用の建物



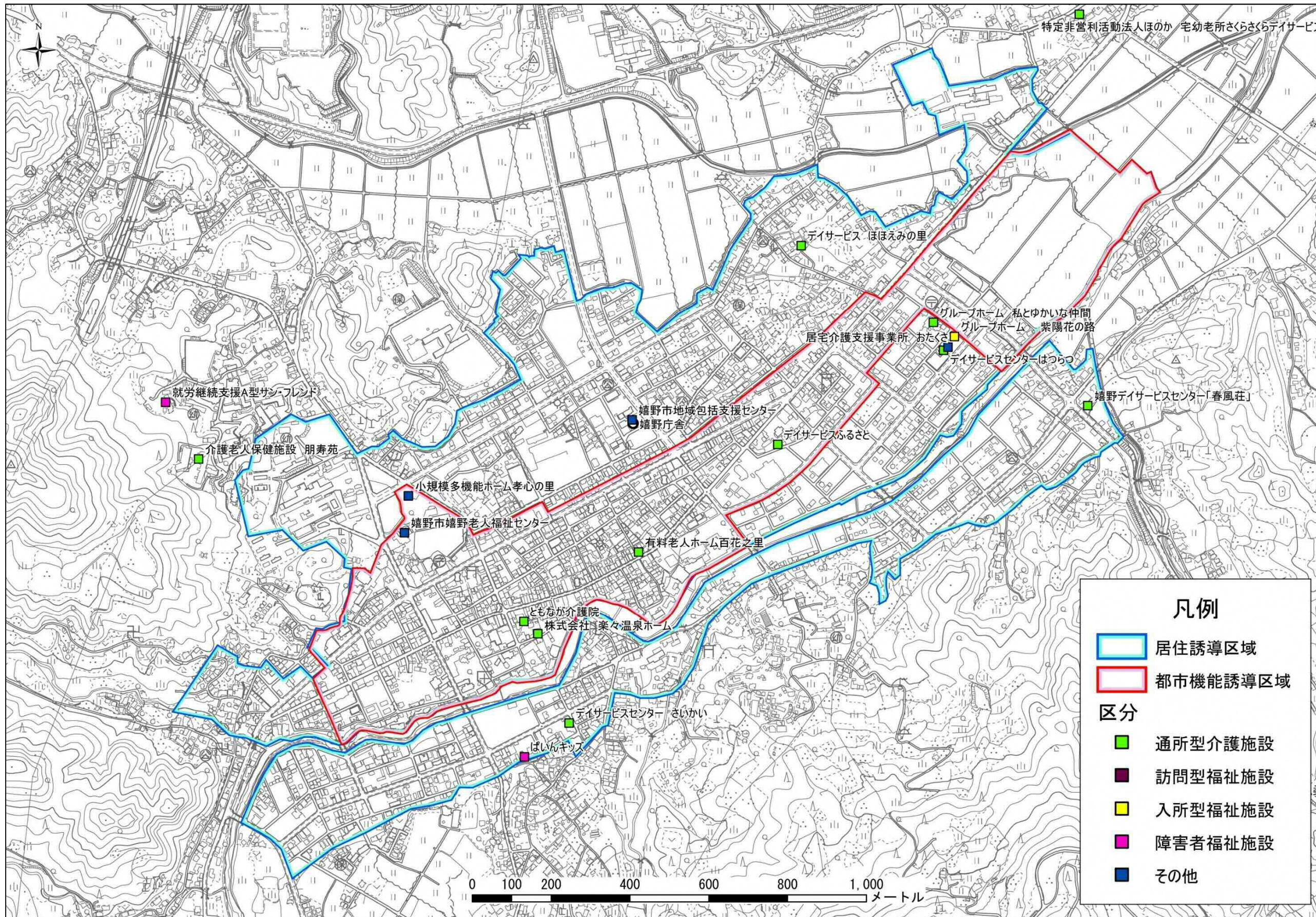


【参考資料】 誘導施設等 立地状況



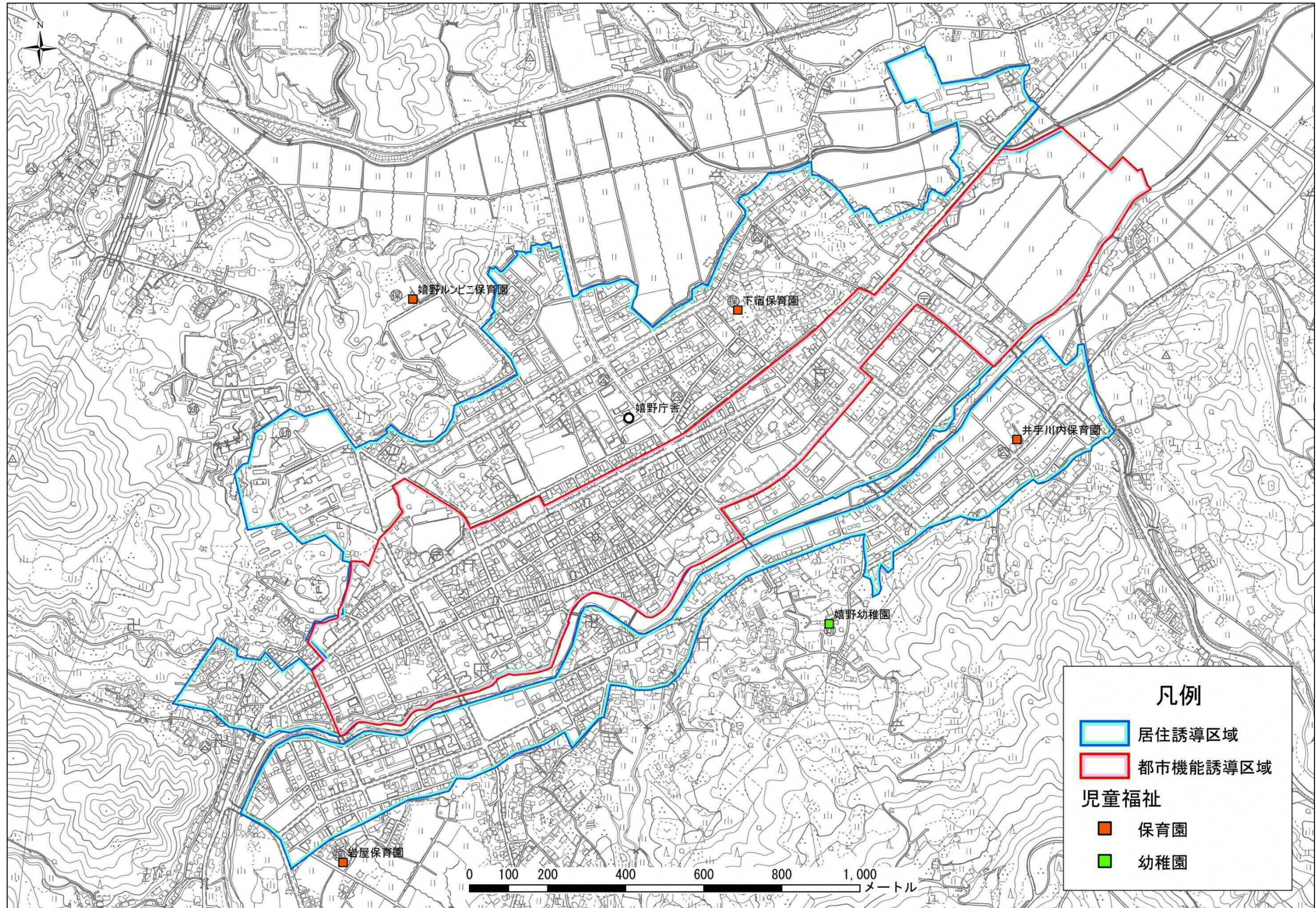


【参考資料】 誘導施設等 立地状況



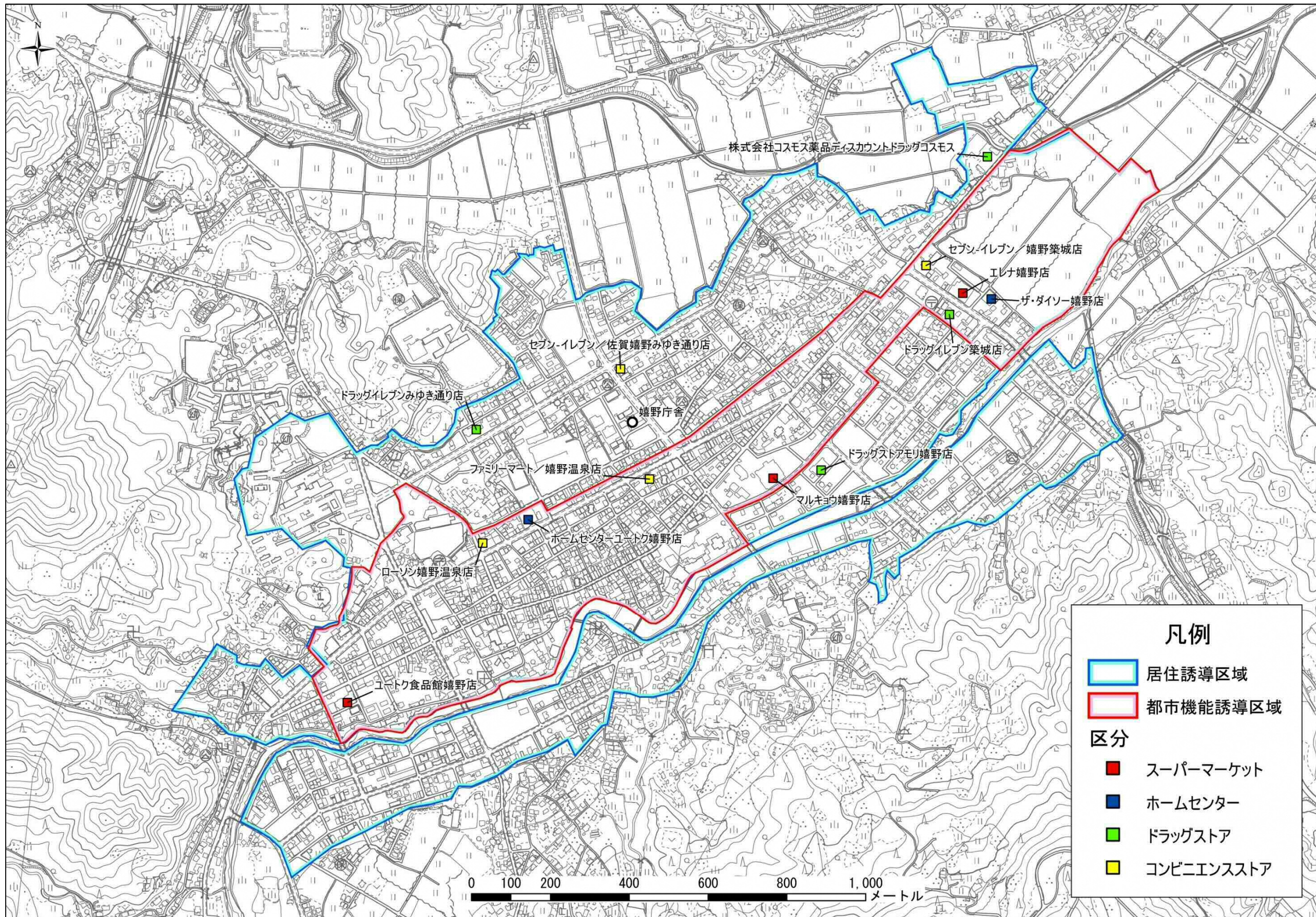


【参考資料】 誘導施設等 立地状況



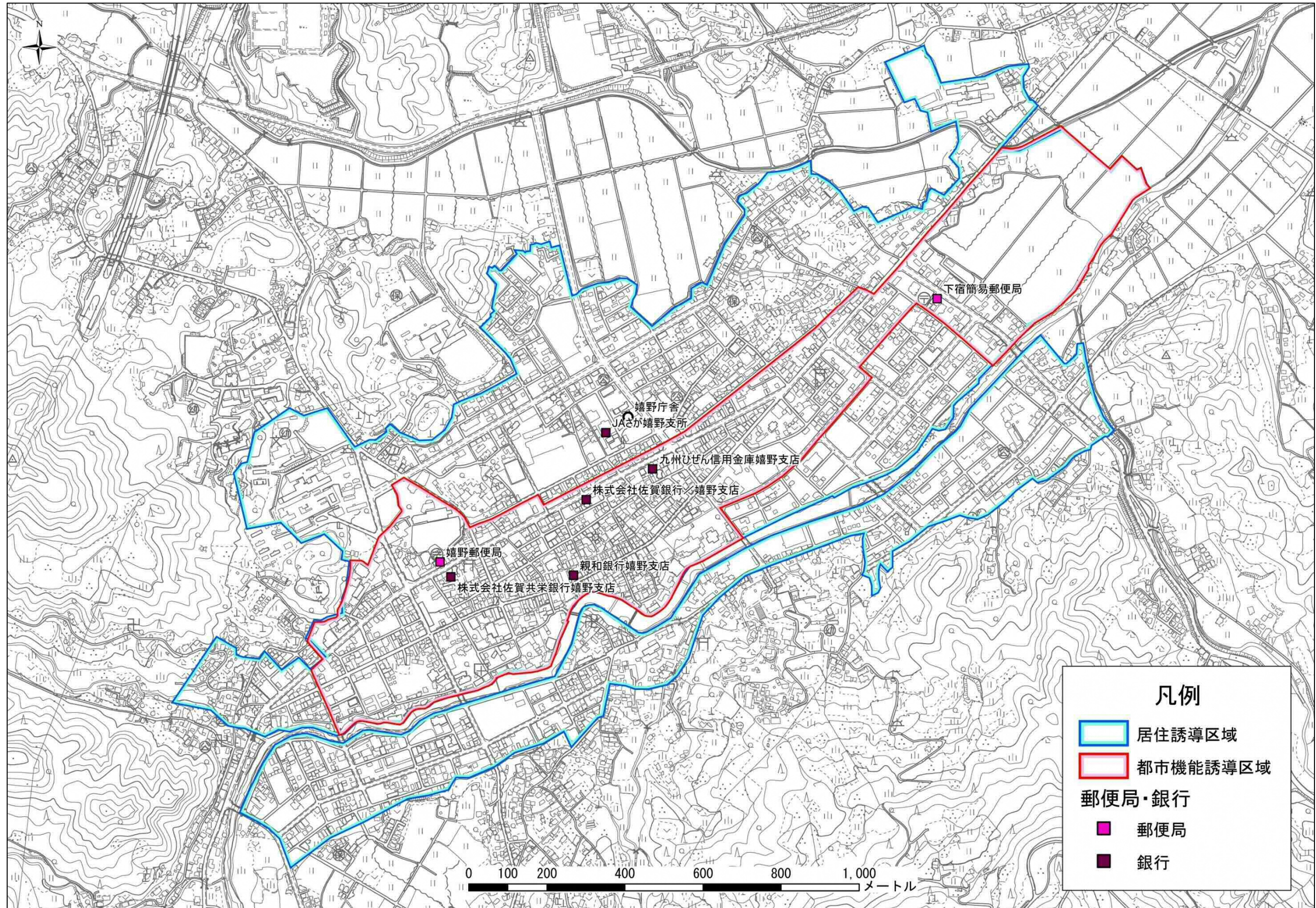


【参考資料】 誘導施設等 立地状況





【参考資料】 誘導施設等 立地状況

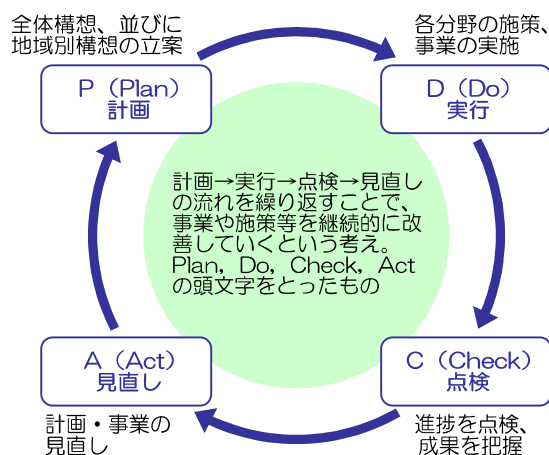




## 8-2 計画の進行管理と見直し

本市では、都市計画の指針として平成24年6月に嬉野市都市計画マスタープランを策定しました。当マスタープランでは、概ね20年後を目標としており、計画が長期にわたることから、その間の社会経済情勢の変化等に柔軟に対応するため、事業や施策の進捗状況について点検し、その成果を見極めながら、必要に応じて改定していくこととしています。

本立地適正化計画は、この嬉野市都市計画マスタープランの一部としての役割を担っているため、マスタープランと併せてPDCAサイクルによる進行管理を行い、必要に応じて見直しを行っていくこととします。



資料：嬉野市都市計画マスタープラン（平成24年6月）

図 PDCAサイクルとまちづくりの管理イメージ



図 立地適正化計画の見直しイメージ